(別記様式第28号)

温 泉 利 用 許 可 申 請 書

年　　月　　日

 　　　　　　　保健所長　殿

 　　　　　　　　　　　　　　　住　所

 　　　　　　　　　　　　　　　氏　名

法人にあっては、その名称

及び代表者氏名

（連絡責任者氏名 　 電話 　　　　　　 ）

 次のとおり温泉を利用したいので、温泉法第15条第１項の規定により関係書類を添えて申請します。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| １ | 浴用又は飲用の別 | □　浴　用 □　飲　用 |  |
| ２ | 温泉利用施設 | 所　在　地 |  |  |
| 名　　　称 |  |  |
| 種　　　類 | □宿泊施設　□公衆浴場　□その他（ ） |  |
| ３ | 利用源泉の状況 | 源　泉　名 |  |  |
| 所　在　地 |  |  |
| 採取者 | 住　所 |  |  |
| 氏　名 |  |  |
| 温　　　度 |  　 ℃ | ゆう出量 |  　　　　　Ｌ/分 |  |
| ゆう出状況 | □自噴　　□動力（種類　 　 　 ） |  |
| ４ | 利用時の温泉の概要 | 温　　　度 |  ℃（加熱前の数値） |  |
| 成　　　分 |  |  |
| 登録分析機関の名称・登録番号 | 名　　称：登録番号：  |  |
| 利　用　量 |  Ｌ/分 |  |
| ５ | 源泉から利用施設までの送場方法等 | 送湯方法 | □自然流下　 □ポンプ圧送 　□タンクローリー等 |  |
| 経　　　　路 | 別図のとおり |  |
| 距　　　　離 |  ｍ |  |
| 送湯管の口径 |  ㎜ |  |
| 送湯管の材質 |  |  |
| ６ | 浴室及び浴槽の構造等 | 浴室の構造 | 別図のとおり | 面積 | ㎡ |  |
| 循環ろ過装置の有無  | □　有　　　□　無 |  |
| 浴槽の構造 | 別図のとおり | 深さ | 　　　　ｍ | 容積 |  　ｍ３ |  |
| ７ | 飲泉施設の構造等 | 別図のとおり |  |
| ８ | 利用開始予定日 |  年　　月　　日 |  |

 (備　考)

１「浴用又は飲用の別」は、該当する方の□にレ印を記すこと。浴用、飲用同時申請の場合は両方の□にレ印を記すこと。

２「温泉利用施設」の「種類」は、該当する項目の□にレ印を記すこと。また、その他の場合は (　) に具体的な種類 (病院、飲泉所等) を記載すること。

３「利用源泉の状況」の「温度」及び「ゆう出量」は、本申請前１年以内に測定した数値を記載すること。利用源泉が２以上ある場合は、別紙として全ての源泉について記載すること。

４「利用時の温泉の温度」は、温泉を加熱して利用する場合には、加熱前の測定値を記載すること。また、 ｢利用量」は１分間あたりの量を記載すること。

５「経路」は、図面によることとし、中継槽 (貯湯槽) 等を経由するときは当該位置も正確に記載すること。また、縮尺を明記すること。

６「浴室及び浴槽の構造」は、図面により正確に示すこと。

７「飲泉施設の構造」は、図面により正確に示すこと。

８　その他、この申請書には次の書類を添付すること。

　(1) 温泉を利用する権利を有することを証する書類

　(2) 申請者が次の事項に該当しないことを誓約した書面

　　ア　温泉法の規定による罰金以上の刑に処せられ、その執行の終了等から２年を経過していない。

　　イ　温泉法の違反等により、利用許可を取り消されてから２年を経過していない。

　　ウ　法人の場合、その役員が上記ア又はイのいずれかに該当している。

　(3) 温泉利用施設の平面図

　(4) 温泉成分分析書の写し (中分析)

　(5) 定款又は寄附行為の写し (申請者が法人の場合)

　(6) 飲泉口において採取した温泉に係る、一般細菌の数及び大腸菌群の定性（有無）並びに有機物の量に関する検査の結果を記載した書類 (飲用許可申請の場合)